

## No.10 「サラダウィーク」を楽しもう！



### -1- 「サラダウィーク」とは？

「サラダウィーク」とは、キューピーが提案する「**野菜を楽しむ1週間**」。期間は8月24日(ドレッシングの日<sup>\*</sup>)から8月31日(野菜の日)。慢性的な野菜摂取不足が気になる日本人ですが、「サラダウィーク」を通じ改めて野菜に目を向け、楽しくおいしく野菜を食べて、野菜摂取量を増やすきっかけづくりを応援します。キューピーが関わる取り組みをいくつかご紹介します。

※ドレッシングの日：由来は、カレンダーで8月24日が8月31日(野菜の日)の真上にくることから、「野菜にドレッシングをかける様子」を結び付け、制定されました。

### -3- 各地へ広がる野菜の取り組み。

2017年から継続して「ENJOY! 駅ベジ」を提案するのは、エキナカ商業施設「**ecute(エキュート)**」。9施設で限定野菜メニューの展開や野菜に関連したイベントを実施します。また、渋谷生まれのサラダ「**#シブサラ**」の提案や、サラダによって宇都宮市産の野菜・果物の消費拡大を図る「**宮サラ**」プロジェクト推進のほか、地元行政や有識者が連携した「**あいち みんなのサラダ**」プロジェクトにも参加しています。**各エリアの特徴を生かして、野菜摂取を応援する取り組み**が広がっています。



#シブサラ(イメージ)

### -2- 野菜の日の認知度、サラダのトレンドは？

キューピーグループでパッケージサラダの製造・販売を手掛ける「**サラダクラブ**」が一般の人を対象に「**野菜と聞いて思い浮かぶ日(記念日など)**」を聞いたところ、**野菜の日と答えた人は10.3%**で、もう少し認知度を高めていきたいところです(出典元「**サラダ白書2019**」)。

エヌピーディー・ジャパン株式会社の「**外食・中食サラダ市場トレンドレポート 18年5月～19年6月**」によると、サラダの食機会数が外食では週末の夕食で51.4%(前年+2.6%)、中食では週日の夕食で53.5%(前年+0.5%)と**サラダの需要は拡大**しています。また、**主食であるごはんやパンなどの糖質を含む食品を減らし、高たんぱく質な食材と野菜を合わせたサラダを主食の代わりとして食べている傾向**がみられます。

キューピーはサラダのトレンドを取り入れながら、野菜・サラダに関する情報を継続的に発信していきます。



(左)  
キューピーと  
ヤサイな仲間たち  
オリジナルムービー  
(イメージ)

(右)  
キューピーと  
ヤサイな仲間たち  
絵本コンテンツ  
(イメージ)



### -4- 楽しく野菜を学ぼう。

7月22日～8月30日の期間、マヨテラス(東京都調布市)では、小学生とその保護者を対象に「**夏休み自由研究コース**」を開催中です。マヨテラスの見学に加えて、野菜の栄養や1日に必要な量をオリジナル教材で楽しく学びます。その後、マヨネーズを手作りし、野菜と一緒に食べます。



### -5- 野菜をもっと盛り上げたい！

キューピーは他にも「**野菜の日**」にちなんでキューピーとヤサイな仲間たちのオリジナルムービーをホームページで公開しているほか、今年から「**ヤサイ村のおはなし(絵本コンテンツ)**」の一部をリーフレットにして配布します。

キューピーは野菜を楽しみながらおいしく食べて、バランス良く摂取量を増やしてほしいという思いで、これからもさまざまな提案を続けていきます。